



令和元年度
生活支援体制整備事業実績報告書
真岡市社会福祉協議会

- P. 1 1 職員体制
- P. 1 2 第1層の取組
- P. 4 3 第2層の取組
 - P. 4 (1) 真岡地区
 - P. 5 (2) 山前地区
 - P. 6 (3) 大内地区
 - P. 7 (4) 中村地区
 - P. 8 (5) 二宮地区
- P. 8 4 成果と課題

資料

- P. 9 協定書
- P. 10 下野新聞 R1. 10. 12
- P. 11 下野新聞 R2. 3. 15



社会福祉法人真岡市社会福祉協議会と真岡市商店会連
合会との移動販売等に関する連携協定締結
令和元年10月11日 真岡市青年女性会館
真岡市社会福祉協議会 磯野里子会長（中央左）
真岡市商店会連合会 高松利雄会長（中央右）

1 職員体制

平成30年度に引き続き、嘱託2名を第2層コーディネーターとして配置した。

- ・真岡、大内、二宮地区 1名
- ・山前、中村地区 1名

第1層コーディネーター1名と合わせて、3名体制での実施となった。

2 第1層の取組

各地区の課題である移動手段の一部解決に向け、ふれあい・いきいきサロンを拠点とした移動販売を展開した。

(1) 経過

① アンケート調査 令和元年6月7日～7月31日

対象：ふれあい・いきいきサロン51件 回答：39件（76%）

移動販売の利用希望は11件（28%）にとどまっているが、希望しないサロンにおいても将来的に必要な等の回答を得る。

② 第1回移動販売打合せ 令和元年8月7日 真岡商工会議所

真岡市商店会連合会 会長、事務局 2名

真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名

各地区の協議体の意見、アンケート調査結果を基に移動販売実施に向けて協議した。結果は、下記のとおりである。

ア 実施方法について

ふれあい・いきいきサロンを拠点とした、移動販売を実施することで継続協議することとした。

イ 補助金について

事業費の補助金として、真岡市社会福祉協議会から商店会連合会に対し、補助金を交付することで継続協議することとした。

ウ 展開スケジュールについて

ふれあい・いきいきサロン運営者向け説明会を実施後、11月からの移動販売の実施を目指すことで継続協議することとした。

③ 第2回移動販売打合せ 令和元年8月19日 真岡商工会議所

真岡市商店会連合会 正副会長、事務局 計9名

真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長 計2名

ア 実施方法について

ふれあい・いきいきサロンを拠点とした、移動販売を実施することで合意した。

イ 補助金について

事業費の補助金として、真岡市社会福祉協議会から商店会連合会に対し、100,000円の補助金を交付することで合意した。

ウ 展開スケジュールについて

ふれあい・いきいきサロン運営者向け説明会を10月4日に開催すること、協定を真岡市社会福祉協議会と真岡市商店会連合会間で締結することで合意した。

④ ふれあい・いきいきサロン運営者向け説明会 令和元年10月4日

ふれあい・いきいきサロン運営者 34名、真岡市商店会連合会役員及び事務局 10名、真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長 第1・2層コーディネーター、サロン担当者 5名

真岡市商店会連合会の紹介及び利用にあたっての手続きを説明した。

⑤ 社会福祉法人真岡市社会福祉協議会と真岡市商店会連合会との移動販売等に関する連携協定締結

令和元年10月11日 真岡市青年女性会館

真岡市商店会連合会 正副会長等 7名、真岡市社会福祉協議会 正副会長等 5名

⑥ 移動販売実施 10月中に8件の登録を受け、11月からの移動販売を実施した。

- ⑦ 第3回移動販売打合せ 令和2年2月6日 真岡市総合福祉保健センター
真岡市商店会連合会 会長、移動販売担当者、事務局 3名
真岡市社会福祉協議会 事務局次長 第1層コーディネーター、サロン担当者 3名
ア 実施状況確認について

移動販売を実施している藤田肉屋の負担と今後増える見込みの移動販売の対応方法について協議した。急激な増加がない限りは、現状で対応できるとの回答を得る。

- イ ふれあい・いきいきサロン座談会について

移動販売についての事例紹介等の内容について、打合せを実施した。

(2) 成果

令和元年度中に20回の移動販売を実施。令和2年3月末日現在、ふれあい・いきいきサロン54件中、15件移動販売登録を受けている。

内訳) 真岡地区2件、山前地区7件、大内地区1件、中村地区5件、二宮地区0件



第2回しあわせずーっと大内 令和元年10月31日
大内分館
災害図上訓練「DIG」を実施。防災情報と一人暮らし高齢者等の情報を共有。東部、中央部、西部それぞれのブロックごとに展開していくことになる。

3 第2層の取組

(1) 真岡地区 協議体名「ずーっとすもおか真岡」(令和2年2月17日設置)

① 第1回準備会 令和元年8月8日 真岡市総合福祉保健センター

真岡地区区長会役員 4名、真岡地区民生委員児童委員協議会役員 4名

真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長、第1・2層コーディネーター 4名

ア 平成30年度の生活支援体制整備事業実施報告について

イ 真岡地区の事業の展開について

地域の課題等を把握するために話合う場を設けるとともに、生活支援体制整備事業の周知を行うため、意見交換会の実施が提案された。

② 意見交換会 令和元年10月11日 真岡市青年女性会館

真岡地区区長会 13名、真岡地区民生委員児童委員協議会 39名

真岡市地域福祉推進員(真岡地区) 15名

真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長、第1・2層コーディネーター 4名

ア 災害情報等の伝達について

イ 生活支援体制整備事業事例紹介について

ウ 高齢者等に関する課題について

- ③ 協議体委員候補者選考会 令和元年12月11日 真岡市総合福祉保健センター
真岡地区区長会役員 4名、真岡地区民生委員児童委員協議会役員 3名
真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長、第1・2層コーディネーター 4名
ア 委員候補者の選出について
イ 第1回会議日程について
令和2年2月17日に決定

- ④ 第1回会議 令和2年2月17日 真岡市総合福祉保健センター
委員 26名、
真岡市社会福祉協議会 会長、事務局長、事務局次長、第1層コーディネーター 4名
ア 委員長、副委員長の選出について
委員長 海老原 悦郎 委員、副委員長 菅 利行 委員
イ 名称の決定について
「ずーっとすもおか真岡」に決定
ウ その他
真岡地区の現状把握をより細かく進めるよう委員から提案があった。

(2) 山前地区 協議体名「いきいきプラン山前」(平成28年5月27日設置)

- ① 駄菓子屋ボランティア説明会 令和元年6月24日 山前分館
希望者 10名、委員 3名、
真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名
介護事業所等を拠点とした居場所作りを推進していくうえで協力してもらうボランティアを募集し、説明会を開催した。

- ② 第1回会議 令和元年6月27日 山前分館
委員 19名
真岡市社会福祉協議会 会長、事務局長、事務局次長、第1層コーディネーター 4名
ア 駄菓子屋ボランティアの経過報告について
ボランティア募集状況と新たに小学生ボランティアを募集することに決定した。
事業名をスマイルファンタジーとし、グループホームふれんど真岡を拠点とした事業を実施することに決定した。
当初予定していた駄菓子屋は近隣商店との兼ね合いから実施しないことになった。
イ 他地区協議体の進捗状況報告について
ウ その他
第2回会議を8月に開催し、その会議にハッピーベリープロジェクトの高校生たちも参加することの了承を得た。

- ③ 第2回会議 令和元年8月23日 山前分館
委員 20名、ハッピーベリープロジェクト参加高校生 16名
真岡市社会福祉協議会 事務局長、第1層コーディネーター、
ハッピーベリープロジェクト担当者 3名

ア スマイルファンタジーの経過報告について

8月の第1、2、4週に実施。

イ ハッピーベリープロジェクトの報告について

ウ 「いろんな居場所改造計画」について

委員と高校生の混在したグループにより、標記テーマで話しを行った。

- ④ ふれあい広場の発足

スマイルファンタジーに参加したボランティアを基に事業所を拠点とした居場所作りを支援するボランティアグループを発足。当面は、グループホームふれんど真岡を拠点とした活動を企画・運営していくこととし、毎月1回程度の協議を実施していくことになった。

- ⑤ 第3回会議 令和2年1月30日 山前分館

委員 21名

真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名

ア もちつき大会の報告について

イ 多世代交流バーベキュー大会の日程や周知報告について

ウ 災害図上訓練DIGの実施

- (3) 大内地区 協議体名「しあわせずーっと大内」(平成31年1月10日設置)

- ① 第1回会議 令和元年5月24日 大内分館

委員 23名、

真岡市社会福祉協議会 会長、事務局長、事務局次長、第1層コーディネーター 4名

ア 委員長の選出について

澤村 一郎 委員

イ 今後の取組について

「見守り」「移動」「居場所」について、事例や方法等を紹介し、活動の方向性についてグループワークを実施した。

- ② 第2回会議 令和元年10月31日 大内分館

委員 27名

真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長、第1・2層コーディネーター 4名

現状把握と情報共有のため、DIGと呼ばれる地図を使った災害図上訓練を実施した。

東部、中央部、西部、それぞれの地区でより細かくDIGを実施し、情報共有と活動の周知を図ることとなる。

③ 西部地区DIG 令和2年1月19日 大内分館
委員 9名、区長 1名、地域福祉推進員 1名、大内西小学校児童 15名、
保護者12名、真岡北陵高等学校生徒 2名、
真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名
災害時の危険個所に加え、バス停や商店、ゴミステーション等の日常生活に関することも
地図に落とし、完成した地図を見ながら災害時や普段の生活での不便等について話合った。

④ 東部地区DIG 令和2年2月26日 大内分館
委員 7名、区長 4名、民生委員・児童委員 3名、地域福祉推進員 3名、
消防団 5名、真岡市社会福祉協議会実習生 3名、
真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名
東部地区を対象とした地域マップ作りを実施した。

⑤ 第3回会議 令和2年2月28日 大内分館
委員17名
真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長、第1層コーディネーター 3名
ア 西部、東部地区のマップ作りの報告について
イ 来年度の推進スケジュールについて
ウ 委員構成について

- ・中央部については、令和2年3月16日に地域マップ作りを予定していたが、新型コロナウイルスの影響で延期となった。

(4) 中村地区 協議体名「ぷらーっとホーム中村」(平成30年12月20日設置)

① 第1回会議 令和元年5月23日) 中村分館
委員 21名、
真岡市社会福祉協議会 会長、事務局長、事務局次長、第1層コーディネーター 4名
ア 委嘱状交付
イ 今後の取組

ふれあい・いきいきサロンが見守りと居場所の機能を持つことから、全区に設置して
いく事に決定した。(21区中12区が設置済み)

未設置の区長宅や老人クラブ会長宅へ訪問し、地域の状況をうかがいながら、ふれあ
い・いきいきサロンについて説明していくことにした。

② 第2回会議 令和元年9月26日 中村分館
委員 23名
真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名
ア 各区のサロン立ち上げの経過報告について
イ サロン立ち上げの課題点の抽出と課題解決について

解決策として、リーダーの育成や、他サロンとの交流や情報交換、外部研修などの
意見が上がり、サロン研修会を開催することにした。

- ③ 中村地区サロン運営者研修会 令和2年1月22日 中村分館
 区長 10名、町会長 1名、単位老人クラブ会長 1名、公民館長 1名、
 ふれあい・いきいきサロン運営者 16名
 真岡市社会福祉協議会 事務局次長、第1層コーディネーター 2名
- ア 事例紹介について
 サロン運営者2名による活動紹介
- イ 意見交換について
 サロン設置済の区と未設置の区で世帯数が近いところでグループを作り、疑問点や
 心配な事等話し合いを実施した。
 サロン立ち上げに向け、前向きに検討すると意欲的な区長の意見もあった。
- ④ 第3回会議 令和2年2月19日 中村分館
 委員 21名
- ア 中村地区サロン運営者研修会の報告について
- イ 次年度の推進スケジュールについて

平成30年度までに、中村地区では9区10か所のふれあい・いきいきサロンが設置されていたところ、令和2年4月からは、15区16か所が開設される見込みである。21区中15区にふれあい・いきいきサロンが設置されることになり、設置率は71.4%になる。

(5) 二宮地区

- ① 意見交換会 令和元年5月30日 二宮コミュニティセンター
 区長会役員3名、いきいき高齢課係長1名、
 真岡市社会福祉協議会 事務局長、事務局次長、第1・2層コーディネーター4名
- ア 二宮の現状について
 地区カルテ・基礎データ・社会資源リストを基に説明した。
- イ 協議体設置までの流れについて
 他地区の事例を紹介した。
- ウ 協議体設置圏域について
 久下田、長沼、物部の3つの圏域とし、それぞれの地区での協議体設置を検討していくことで合意した。
 民児協会長に上記結果を報告し、今後の展開について相談。実態を調査するため、アンケートを実施することとした。
- ② アンケート調査
 対象：区長59件（回答44件75%）、民生委員児童委員38件（回答28件74%）
 真岡市地域福祉推進員28件（回答18件64%）、
 単位老人クラブ会長17件（12件71%）
 日中一人になる高齢者への見守り等の対応や、空き家への対応、移動手段の確保が課題意識として見受けられた。



スマイルファンタジー 令和元年8月21日
グループホームふれんど真岡
利用者、地域の高齢者、ボランティア、児童がレクリエーションを行っている様子。

4 成果と課題

真岡市商店会連合会の協力により移動販売を実施することができた。これにより、第2層で課題となっていた移動手段の一部について、解決に向け具体的に取組むことができた。ふれあい・いきいきサロン以外での移動販売も視野に入れ、真岡市商店会連合会の状況をうかがいながら展開していきたい。

第2層では、山前・大内・中村地区に加えて、新たに真岡地区に協議体を設置することができた。

二宮地区については、アンケート調査等少しずつ協議体設置に向けた取組を行ってはいるが、具体的協議には至っていない。二宮地区にある福祉サービス事業所等への働きかけも行いつつ、区長会や民児協への働きかけを行っていきたい。